

# 熊楠works

2013年10月1日

No. 42

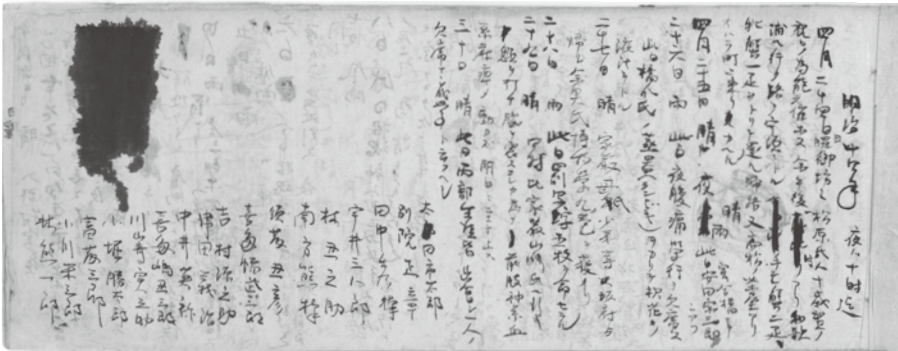
題字は熊楠自筆

■発行／南方熊楠顕彰会 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913  
http://www.minakata.org/ <E-mail> minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠……………13

## 日記

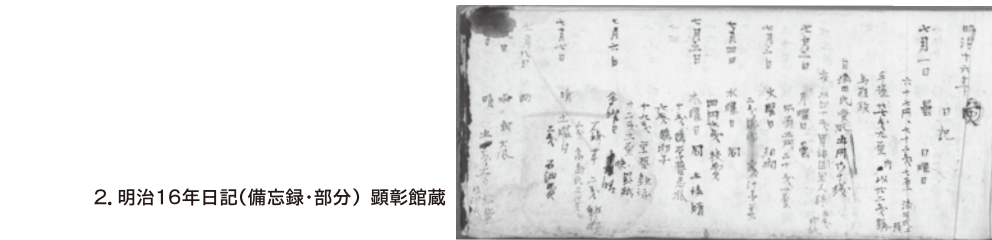
岩崎 仁（京都工芸繊維大学准教授）



1. 明治14年日記(部分) 顕彰館蔵



3. 明治18年日記(部分) 顕彰館蔵



2. 明治16年日記(備忘録・部分) 顕彰館蔵

植物標本を除けば、熊楠が遺した資料の中で、唯一記載内容に誇大な表現が無いと考えられるのは「日記」であろう。その意味でも日記は、熊楠を研究する上で最も重要な資料である。この「日記」の移り変わりを追う。

写真は、熊楠14歳の明治14(1881)年の日記で、和紙を綴った手製(写真1:11.2cm×28.2cm)である。これが確認できる最も早い時期のものである。記述は4月24日から始まり、「余午後一時より和歌浦へ行く 路を宇須にとる 手亡蟹二疋牝蟹一疋をとりて還る」とある。ちなみに、手亡蟹は手棒蟹(シオマネキ、雄は片方のハサミが極端に大きい。現在は絶滅危惧Ⅱ類に指定)のことと思われる。翌々日の26日には「橋爪氏の蒸器をかりて枳花の液汁をとる」、さらに27日には「余具氏博物学九巻を獲たり」と書かれ、当時から熊楠が、動植物そして博物学に強い関心を持っていたことがよくわかる。

次に日記と書かれているのは明治16年のやはり和綴(写真2:7.6cm×18.0cm)で、明治14年のものより一回り小さい。冒頭に「明治十六年 日記」とあるが、表紙にはおおきく「備忘録」と書かれている。内容も出納帳的な記述や幕末期の狂歌の引き写し、また文字通りのメモ書きなどが多く、その日の出来事を書いた日記的な記述は少ない。写真で示した部分はペン書きであろうと思われる。熊楠の日記はほとんどの場合、筆を使って墨で書かれており、ペン書きは珍しいと言える。時期としては、明治16年7月から翌17年4月に東京大学予備門に入学する直前までがこの冊子に書かれている。

明治18(1885)年は印刷局発行、定価金拾銭の「懷中日記」となる。この懷中日記は、明治12(1879)年から内閣印刷局が発行したもので、その後、明治28(1895)年に博文館(明治20年創業、現・博文館新社)が同じ形式でページ数を増やすなどして同

価格で販売し大ヒット商品となったそうである(大塚商会成功事例集2008より)。外寸は縦12.7cm×横8.8cmとB5サイズの4分の1程度(写真3)で、この1ページが上下に分けられて二日分のスペースとなっている。その1月1日の部分を示すが、いきなり「別に面白きことなし」と書かれている。年頭の言葉としていかにも熊楠らしい。そして同4日には「上野に如き教育博物館を觀る」とあり、現在の国立科学博物館を訪れている。さらに6日にも同館を訪れたことが日記に記されているが、自ら「国の宝」と称した菌類図譜など膨大な量の植物標本が、一世紀後に同館植物研究部蔵となることは予想できなかったであろう。この「懷中日記」は明治20年までの3冊が残っている。

### CONTENTS

第23回南方熊楠賞 授賞式	… 2
南方熊楠賞受賞記念講演 杉山純多	… 3
「熊楠」生物覚え書⑩ 土永知子	…19
第22回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 志村真幸	…20
第23回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 今枝杏子	…25
第23回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 櫻井 想	…33
第24回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 石丸耕一	…38
第24回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 松居竜也	…41
第24回 熊楠をもっと知ろう! 講演会 杉山和也	…44
第24回 熊楠をもっと知ろう! シンポジウム	…47
セミの話 橋爪博幸	…51
南方熊楠と同級生たち 広川英一郎、田村義也	…54
海辺のクマグス 第四回 安田忠典	…57
ロンドン調査「熊楠関連の住所めぐり」 岩瀬 幸喜	…59
南方熊楠蔵書『本草図譜』、『十新考』と大沼宏平翁について(三) 郷間秀夫	…61
書簡の杜(九) 岸本昌也	…62
熊楠メモランダム(6) 杉山和也	…64
書評・書籍紹介 千本英史	…66
放送大学面接授業 演岸宏一	…68